

## 平成20年度 川崎市恵楽園の管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎聖風福祉会(川崎区池上新町3丁目1番地8)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	(1) 老人福祉法第11条第1項第1号の措置に係る者の入所及び養護に関する業務(養護老人ホーム事業) (2) 老人デイサービスセンターの業務(通所介護事業) (3) 居宅介護支援の業務(居宅介護支援事業) (4) 施設等の維持・管理に関する業務(建物屋上や周辺の植栽の管理等を含む。)

### 2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持・管理	<p>建物、設備に関しては専門業者に管理業務を委託しており、適切に建物、設備の維持管理に努めた。</p> <p><b>【委託業務の内容】</b> エレベータ保守点検、自家用電気工作物点検、電気温水器保守点検、消防設備点検、空調設備点検、調理業務、一般廃棄物収集業務、施設内清掃業務、消防設備・施設整備点検等</p>	<p>外部委託等によって、施設・設備の維持管理を適正かつ効率的に行っていることが評価できる。</p> <p>施設も開所から16年が経過しており、老朽化によって設備面等の不具合が発生している。</p> <p>そのため、効率的かつ効果的な施設・設備の管理を行うことによって、不具合の発生を最小限に抑えるよう指導していく。また実際に不具合が発生した場合には、早急に対応し利用者への影響を及ぼさぬよう指導していく。</p>
② 処遇への取組み	<p>安心・安全・快適な生活の提供と利用者のニーズを把握し、良質で適切な支援を実現することを基本方針とし、個別支援計画の作成やケース会議、朝夕の引継ぎ時の情報交換を通じて職員への情報提供を心がけ、利用者の処遇向上に努めた。</p> <p>食事の提供については、生活習慣病予防に向けた取り組みや給食内容の向上を図るための給食会議を開催するなど、食の改善に努めた。</p> <p>健康診断や栄養相談などにより、健康状態の把握に努めた。また転倒防止策として、設備面で、カーペットの張替え等をした。</p>	<p>利用者の処遇向上に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>高齢者施設では、利用者の尊厳を尊重し、質の高い個別的なケアを実践することが求められていることから、今後においても、サービスの質の向上に向けた取り組みを行うよう指導していく。</p>
③ 職員教育・研修の実施状況について	<p>内部研修や外部研修などに積極的に参加し、支援者として必要な知識、技術、倫理を身に付け、職員の資質向上に努めた。</p> <p>(研修参加状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修 8回 延べ参加人数 133人</li> <li>・法人研修 8回 延べ参加人数 43人</li> <li>・他施設研修 5回 延べ参加人数 17人</li> <li>・外部研修 16回 延べ参加人数 19人</li> </ul> <p>(研修内容)</p> <p>「対人援助技術研修」 「ノロウイルス予防対策」 「共食の取り組みについて」 「スピリチュアルケア」 など</p>	<p>研修の受講回数が多く、職員の資質向上に対する意識が高いことや知識、技術を職員間で共有し、業務に反映させていることが評価できる。</p> <p>今後においても、職員の知識向上への取り組みが施設等の運営に不可欠であることから、積極的に研修を行うなど、職員の教育に力を入れるよう指導していく。</p>
④ 安全管理について	<p>薬の誤薬が3回、重複して薬を与えたのが1回と薬に関する事故が複数回、発生してしまったが、施設内で検討委員会を開き、対策を検討した。</p>	<p>薬の誤飲等は、生命の危険にもつながるので、十分に注意するよう指導していく。また、避難訓練等も</p>

	た。 避難訓練を定期的に行い、災害に対する対応方法も構築している。	定期的に行っており、防災意識が高いことが評価できる。 今後についても、安全管理を徹底するよう指導していく。																																																																								
⑤ 地域交流の状況について	歌や踊りなどのボランティアを多数受け入れている。 また、社会福祉現場実習生や学生現場体験も受け入れている。	多数のボランティアを活用していることが評価できる。 今後においても、積極的な地域交流に努めるよう指導していく。																																																																								
評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導																																																																								
(2) 利用状況																																																																										
① 利用状況について	<p>ア 養護老人ホーム 入所定員:140人 年間延べ利用者数 1,414人</p> <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr> <tr><td>116人</td><td>117人</td><td>116人</td><td>117人</td><td>118人</td><td>119人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><td>120人</td><td>119人</td><td>117人</td><td>117人</td><td>119人</td><td>119人</td></tr> </table> <p>定員に対する稼働率85%(平成21年3月末現在)</p> <p>イ 通所介護事業 利用定員:30人 年間延べ利用者数 4,407人</p> <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr> <tr><td>346人</td><td>361人</td><td>348人</td><td>354人</td><td>304人</td><td>362人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><td>397人</td><td>368人</td><td>372人</td><td>343人</td><td>404人</td><td>448人</td></tr> </table> <p>定員に対する稼働率57.38%</p> <p>ウ 居宅介護支援事業 年間延べ給付管理者数 160人</p> <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr> <tr><td>0人</td><td>1人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>4人</td><td>8人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><td>9人</td><td>12人</td><td>13人</td><td>15人</td><td>19人</td><td>20人</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	116人	117人	116人	117人	118人	119人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	120人	119人	117人	117人	119人	119人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	346人	361人	348人	354人	304人	362人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	397人	368人	372人	343人	404人	448人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	0人	1人	3人	3人	4人	8人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9人	12人	13人	15人	19人	20人	<p>養護老人ホーム事業については、利用者の高齢化や重度化に伴い、入院などによる退所者が増加している。今後については、140名の入所定員に向け、稼働率向上のための取組みを指導していく。 通所介護事業については、1日平均17名程度の利用者数ではあるが、昨年度に比べては、やや稼働率が上がっている。 居宅介護支援事業については、20年2月に介護支援専門員の欠員が生じたため、利用者の移管を行った。4月に欠員を補充したが、ゼロからのスタートとなったため、稼働率が低くなった。 今後については、安定した稼働率を維持するとともに、人員欠如などによる利用者へのサービス提供に支障が生じないよう指導していく。</p>
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																					
116人	117人	116人	117人	118人	119人																																																																					
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																					
120人	119人	117人	117人	119人	119人																																																																					
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																					
346人	361人	348人	354人	304人	362人																																																																					
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																					
397人	368人	372人	343人	404人	448人																																																																					
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																					
0人	1人	3人	3人	4人	8人																																																																					
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																					
9人	12人	13人	15人	19人	20人																																																																					
② 行事の実施状況	年間を通じて、多彩な行事をおこなっており、花見、七夕、夏祭り、節分など季節性のある行事が多い。 また、踊りクラブや書道クラブなどで、地域との交流に力を入れており、入所者の生きがいづくりに努めている。	ボランティアを活用して多様なクラブ活動を行っていることが評価できる。 今後においても、利用者の意見を反映する等、季節感のある行事を実施するよう指導していく。																																																																								
(3) 収支状況																																																																										
① 収支状況	<p>ア 収入の状況</p> <table border="1"> <tr><td>養護老人ホーム事業</td><td>通所介護事業・居宅介護支援事業</td><td>施設合計</td></tr> <tr><td>264,697,426</td><td>44,271,848</td><td>308,969,274</td></tr> </table> <p>養護老人ホーム事業については、主に川崎市からの指定管理委託料を収入として運営されているものである。 通所介護事業・居宅介護支援事業については、主に介護保険制度による介護報酬と利用者負担金を指定管理者の利用料金収入として収受したものである。</p> <p>イ 支出の状況</p> <table border="1"> <tr><td>養護老人ホーム事業</td><td>通所介護事業・居宅介護支援事業</td><td>施設合計</td></tr> <tr><td>256,375,843</td><td>47,362,151</td><td>303,737,994</td></tr> </table>	養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計	264,697,426	44,271,848	308,969,274	養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計	256,375,843	47,362,151	303,737,994	<p>通所介護事業・居宅介護支援事業においては支出が収入を上回る結果となったが、全体額としては収入額が支出額を上回っている。 養護老人ホーム事業については、引き続き予算内で適切な施設運営を行うとともに、通所介護事業・居宅介護支援事業については、収支の改善に取り組み、安定した事業運営が図れるように継続して指導していく。</p>																																																												
養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計																																																																								
264,697,426	44,271,848	308,969,274																																																																								
養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計																																																																								
256,375,843	47,362,151	303,737,994																																																																								

	<p>事業運営に必要な人件費・事務費・事業費として支出されたものである。</p> <p>ウ 決算(収支差引)の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>養護老人ホーム事業</td> <td>通所介護事業・居宅介護支援事業</td> <td>施設合計</td> </tr> <tr> <td>8,321,583</td> <td>-3,090,303</td> <td>5,231,280</td> </tr> </table> <p>通所介護事業・居宅介護支援事業については、支出額が収入額を上回る結果となった。</p>	養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計	8,321,583	-3,090,303	5,231,280	
養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計						
8,321,583	-3,090,303	5,231,280						
評価項目	20年度管理運営の状況	評価及び指導						
(4) その他								
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>意見・要望箱を設置し利用者が意見・要望を伝えやすい環境づくりを整えらるとともに、受け付けた意見・要望に対しては、申立者へ返答した。またホーム会議や掲示板を利用して周知を行った。</p> <p>対処内容に納得ができない場合には、公正・中立な立場から判断するため、地域から2名を第三者委員として選任した。ただし本年度は、第三者委員へつなぐ内容はなかった。</p>	<p>利用者の処遇の向上のため、意見・要望を伝えやすい環境づくりに努めていることが評価できる。また、周知に努めている点も同様である。今後についても、意見・要望に対して適切に対応するよう指導していく。</p>						
② 個人情報の保護	<p>個人情報保護の規定に基づき、職員は入職時に誓約書を提出し、利用者からは、個人情報使用同意書を提出していただき、職員の秘密保持や、適切な個人情報の取扱いを行い、利用者の個人情報に配慮している。</p>	<p>虐待事例による入所者も多いことから、個人情報の保護は他施設より重要であるため、今後についても、個人情報の保護を徹底するよう指導していく。</p>						

### 3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

虐待事例や精神疾患、認知症などの生活障害を合わせ持った者など、処遇困難な入所者が増加している状況において、サービスの質の向上と定着を目標にして、個別支援計画の作成、食事に関する取組み、ボランティアを活用した地域交流など、利用者の個性に沿ったサービス提供を実践していることや、入所者の生きがいづくりのために積極的に運営している点が評価できる。

### 4 平成21年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

利用者が安心して生活できる施設を維持するため、引き続き安全管理・防災対策・個人情報保護を徹底するとともに、職員の技術向上を図り、利用者の処遇に支障が生じないよう指導していく。また、薬の誤飲等の事故に関しては、原因を考察し、再発防止に向けて対策をたてるように指導していく。